



# 由布市 YUFU CITY COUNCIL 議会だより

No.70  
2023年5月



口ノ原ふれあい広場（庄内町）

緊急開催！

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

みんな  
きちよくれ〜

## 議会報告会 意見交換会 開催のお知らせ

右記の日程で開催します。

内容

- 令和5年度当初予算の報告
- 地域課題、議員のなり手不足等についての意見交換

開催日時  
会場

庄内

5月17日 水  
19:00~

庄内公民館

湯布院

5月18日 木  
19:00~

ゆふいんラックホール

挾間

5月19日 金  
19:00~

はさま未来館

### 湯布院交通渋滞対策事業

由布院行くなり  
裏道で

AIカメラによるデータ分析

958万7千円

### 重層的支援体制整備事業



複雑な相談事も  
市で対応できる体制を  
目指して

1,316万5千円

### 園芸産地整備事業



梨・ベリー類・白ねぎ  
それぞれの産地形成へ支援

4,342万2千円

### デスティネーション キャンペーン推進事業



令和6年の  
観光イベントに向けて  
滞在型・循環型保養温泉地を

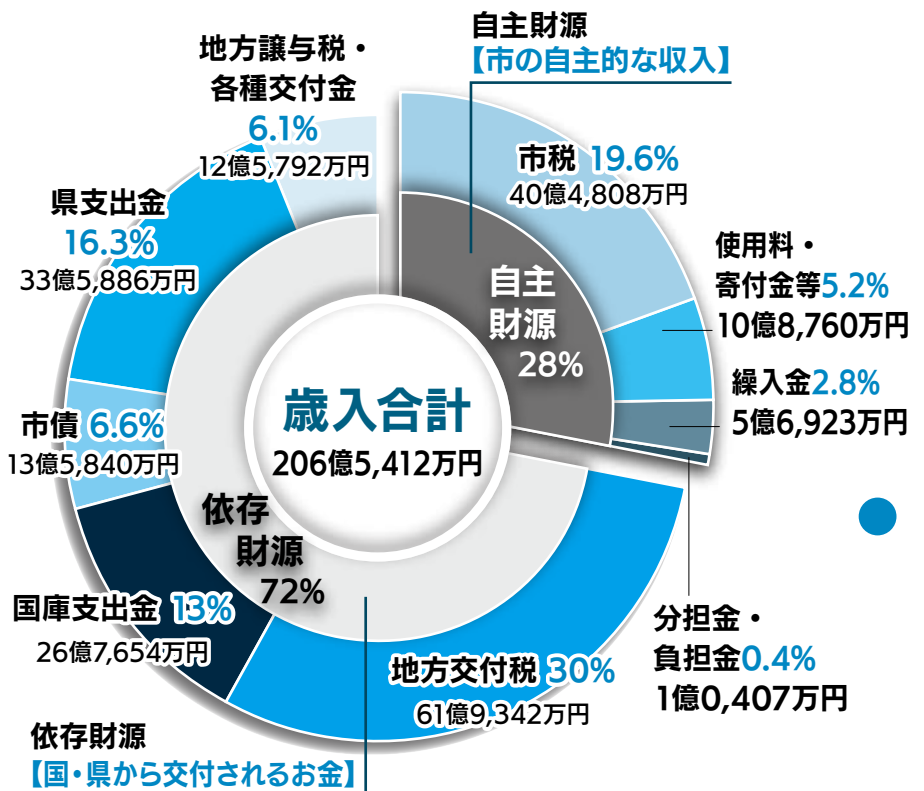
5,285万4千円

# 由布市の魅力を 新たな由布市を

## 令和5年度 一般会計当初予算

### 一 般

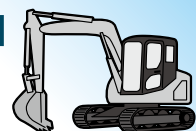
#### 市に入るお金



#### 災害復旧費

令和2年災害、令和4年災害分  
農地・農業用施設・道路・河川

16億852万6千円



急げ!

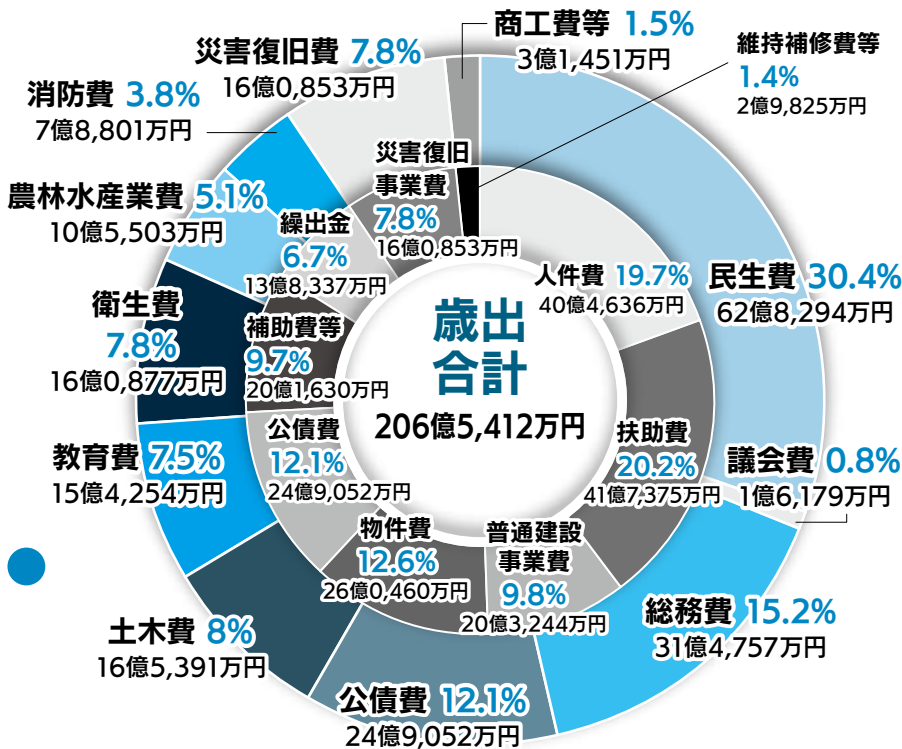
# 掘り起こし 全国へ!!



## 206億5,412万円を可決

### 会計

#### 使いみち



#### 市民提案型 連携協働事業

市民皆様の  
公共的・斬新・継続性・  
独自・効果的な  
アイデアをコンテスト!

採択事業には

最大1,000万円



※詳細は総合政策課へ  
お問い合わせ下さい。

#### ごみ減量化対策事業

電気式生ごみ処理機の  
購入補助  
ごみ減量化を推進



336万3千円

※詳細は環境課へ  
お問い合わせ下さい。

#### 子育て支援

要支援対象児童等見守り強化事業  
アウトリーチで子どもを守る

529万4千円

出産・子育て一体的支援事業  
妊娠～子育て家庭に寄り添います

3,682万5千円

【令和5年度の各会計の予算額】

会計名		令和5年度当初予算額	前年度比
一般会計		206億5,412万円	-2億169万円
特別会計	国民健康保険	40億7,089万円	-259万円
	介護保険	43億6,157万円	+4,379万円
	後期高齢者医療	5億4,939万円	+4,599万円
	農業集落排水事業	1億2,692万円	+3,962万円
計		298億3,777万円	-7,488万円
水道事業	収益的収入	8億7,761万円	-647万円
	収益的支出	8億5,098万円	+3,871万円
	資本的収入	5億2,620万円	+1億1,432万円
	資本的支出	8億6,557万円	+1億2,840万円

## 令和5年度 当初予算

# 質疑

議員から89件の質疑がありました。その一部を掲載します。

**Q** 市民税、固定資産税の滞納繰越分についての積算根拠を問う。

**A** 滞納繰越分については年度末の移動が大きいため、予算書作成時において不確実な要素が多いため、前年度と同様の額を計上している。

**Q** 市民提案型連携協働事業。補助金1,000万円の事業内容の説明を。(質疑6名)

**A** ふるさと納税を使ってユニークな事業をしていることを市外へ発信し、注目を集めることも狙いの一つ。上限1千万円、おおむね3年以内で使い切る。市内の市民、団体、事業所、企業を対象に市全域の活性化、まちづくりや地域の課題解決に向けた取り組みに関心をもってもらい、その事業に実際に取組んでいただくことを、主な目的として募集したい。

**Q** 新たな交通体系構築事業についての説明を。(質疑4名)

**A** 現在、由布市公共交通網形成計画と生活交通確保維持改善計画の2つが由布市にあるが、今般、法改正により2つを連動させる必要が生じたので、新たに地域公共交通計画を作成することとなった。この主体は地域公共交通活性化協議会がすることになり、その作成に係る経費900万円を負担金として出資するもの。

**Q** 要支援対象児童等見守り強化事業529万4千円の内容は。(質疑3名)

**A** 児童虐待のリスクの高まりを踏まえ、課題を抱える子育て世代が社会から孤立しないよう支援することが必要であるため、民間団体等も含めた様々な地域ネットワークを総動員し、支援ニーズの高い子ども等を見守り、必要な支援につなぐ体制の強化を推進するもの。

**Q** 地域計画策定推進緊急対策事業についての説明を。(質疑4名)

**A** 従来より農政課が主管してきた人・農地プランの取組みで、農地・農業に関して地域での話し合いにより、目指すべき農業の将来の姿を明確化する地域計画というものを定めて、農地の受け手を確保し、農地の集約化を進めていくという事業であり、農政課と農業委員会の2本立てでやっていく。

**Q** 重層的支援体制整備事業が昨年の社協への委託から、今年度は福祉課で実施。会計年度任用職員4名で出来るのか。(質疑2名)

**A** 令和5、6年度は、庁内連携が容易にできるとのことから市の直営でやってみて、以後、本事業に移る際に社協を含め一番適切な事業所への委託を検討する。また、会計年度任用職員4名に加え、福祉課の2名が入るようになっている。現在、各課より代表者を出してもらってのワーキンググループを設置し、横断的な相談支援体制の構築を図っている。

## 令和5年度 当初予算質疑

### Q 湯布院交通渋滞対策事業。委託料、使用料の内容は。(質疑2名)

A 委託料はAIカメラ等の継続設置および保守管理、データ整理等。使用料及び賃借料は、湯布院交通緩和対策まちAIシステムの利用料を4か年分の初年度の金額を計上。新町交差点、五差路、道路ネットワークの不足、交通結節点(由布院駅、バスセンター)が課題。これらは湯布院交通渋滞緩和検討部会での13の提言を受け、その考察をしている。

### Q デスティネーションキャンペーン推進事業の由布市負担金の根拠等は。(質疑2名)

A バスを、金・土・日に市内4コースで運行した場合。バス1台5万円を4台、月14日間、4か月とすると、バスのみで1,120万円となる。また、市内5つの観光協会の考えたものをなるべく採用し、バランスを考えたものにした。

※デスティネーションキャンペーンとは、大分県・福岡県・JR九州が連携して催す観光イベントで、令和6年度に開催。

## 大分県後期高齢者医療広域連合議会 報告



■ 令和5年第1回大分県後期高齢者医療広域連合議会定例会  
日時／令和5年2月13日

### 事件及び審議結果

#### ● 大分県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任に関し議会の同意を求めることについて

現監査委員である太田博子氏の任期が令和5年3月28日に満了することから、後任に三浦典昭氏を選任するもの。

#### ● 大分県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

保険料軽減措置に係る所得判定基準を改正するもの。均等割5割軽減では28万5千円を29万円に、2割軽減では52万円を53万5千円に改正。

#### ● 大分県後期高齢者医療広域連合個人情報保護法施行条例の制定について

#### ● 大分県後期高齢者医療広域連合個人情報保護条例の全部改正について

#### ● 大分県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、所要の改正を行なうもの。

#### ● 令和4年度大分県後期高齢者医療広域連合特別会計補正予算(第1号)

広域連合の基幹システム更新契約に関し、債務負担行為を設定するもの。

#### ● 令和5年度大分県後期高齢者医療広域連合予算について

【一般会計】歳入歳出予算総額10億1,450万円とする。  
【特別会計】歳入歳出予算総額2,077億4,700万円とする。

全て、賛成多数で同意・可決しました。

大分県後期高齢者医療広域連合議会議員 太田 洋一郎

## 令和5年 第1回由布市議会定例会概要

令和5年第1回定例会が2月27日に開会され3月23日までの25日間開催されました。新年度予算を除く概要は下記のとおりです。

報告2件、諮問1件、承認1件、議案第1号から第40号まで一括上程また、追加議案第47号(補正予算)について提案理由、詳細説明を受け、いずれも賛成多数により原案可決。最終日には発議1号(由布市議会個人情報保護条例)1件を賛成多数で原案可決。請願3件を審議し、1件を採択、1件を否決、1件は継続審査です。

### 【主な提出議案】

- ◆議案第2号 由布市情報公開・個人情報保護審査会の制定について
- ◆議案第5号 由布市長期滞在施設条例の廃止について(奥江休暇村センター)
- ◆議案第6号 由布市情報公開条例の一部改正について
- ◆議案第7号 由布市職員定数条例の一部改正について
- ◆議案第8号 由布市長等の給与の特例に関する条例の一部改正について
- ◆議案第9号 由布市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について
- ◆議案第10号 由布市印鑑条例の一部改正について
- ◆議案第14号 由布市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ◆議案第15号 由布市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ◆議案第17号 由布市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について
- ◆議案第35号 令和4年度由布市一般会計補正予算(第9号)
- ◆議案第36号 令和4年度由布市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- ◆議案第37号 令和4年度由布市介護保険特別会計補正予算(第4号)
- ◆議案第38号 令和4年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- ◆議案第39号 令和4年度由布市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
- ◆議案第40号 令和4年度由布市水道事業会計補正予算(第3号)

### 【補正予算の概要】

補正予算総額 4億6,930万9千円の減額

●みらいふるさと寄付金推進事業	1億8,000万円
●住民税非課税世帯給付金	△7,200万円
●保育所活動推進事業(送迎用バス)	52万5千円
●学校給食費	501万7千円
●就農支援事業(新規就農者支援)	△969万円
●畜産経営支援事業	△525万4千円
●鳥獣被害総合対策事業	△1,095万円
●その他、実績や入札残等による減額多数	

### 【人権擁護委員の推薦】

人権擁護委員の任期が、令和5年6月30日をもって満了となり、新たな人権擁護委員の推薦が決まりました。

氏名 木戸 栄子 氏

### 【議案第21号から第34号】

大分市、別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、日出町、由布市それぞれ市町の図書館について、市民が相互に利用できる。

(地方自治法第244条の3第2項)

## 議 案 質 疑

※当初予算を除く

**由布市長期滞在施設条例の廃止について****Q** 廃止後売却もしくは貸出するのか。**A** 奥江休暇村センターは平成9年度より指定管理として運営。管理者および従業員の高齢化により辞退の申出があり、今後の維持管理、運営が困難と判断した。今後は譲渡・売却の方向で進めていく。**由布市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について****Q** 諸物価高騰等によりカット額と同額の負担軽減策を講ずることはできないか。**A** 合併以降、市の財政状況を鑑み職員自らの発案で始め、労使双方協議し合意の上で財政調整基金へ積立している。今回の給与減額は約1,500万円となる。**由布市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について****Q** 家庭的保育事業所数と小規模事業所内居宅訪問型保育所等との関連及び、市認可施設のプザー等の装置は補助対象となるか。また、条例第8条3の2の説明を。**A** 家庭的保育事業者は市内に1カ所。この条例は小規模事業所内居宅訪問型保育所等と関連します。条例第8条3の2は通園を目的としている自動車のうち、座席が2列以下の自動車を除くすべてが原則、安全装置に関わる義務付けの対象となる。**由布市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について****Q** 出動手当、出動報酬改定に向けた今後の方針は。**A** 由布市は出動報酬の支給はしていない。出動手当は1回の出動につき2,000円支給している。国の標準額が示されているので今後調査研究し検討する。**令和4年度由布市一般会計補正予算（第9号）****Q** 住民税非課税世帯給付金の7,200万円の減額理由は。**A** コロナ禍で住民税非課税世帯等が増える見込みで予算計上していたが、対象世帯の減による。**Q** 福祉事務所支援金、社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援事業負担金、食料品等価格高騰対策臨時支援金併せて1,110万円の減額理由は。**A** 福祉事務所等支援金460万円の減額は、市内障がい・高齢者・子育て・医療の15事業所の減及び由布市事業復活支援一時金の申請済み事業所等20事業所が未申請となったため。社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援事業負担金400万円の減額は、事業実施施設を県が多く見込んでいたため負担金の減額が生じた。食料品等価格高騰対策臨時支援金250万円の減額は、年間の食事提供実数が少なかったことによる。**Q** 自立支援医療費負担金の1,627万7千円の減額理由とその原因は。**A** 自立支援医療に係る医療費の10割が対象となる生活保護対象者の人工透析患者2名の減、同じく生活保護受給者で高額医療費が無かったことによる利用料の減少。また、生活困窮者自立支援金は、コロナ禍の長期化による生活困窮者の増加を見込み予算計上していたが、申請件数が伸びず減額となった。原因としては、コロナ禍で生活困窮は生じたが、県社協の緊急小口資金や総合支援金等の特例貸付の利用でとどまる世帯が多かったこと等。**Q** 子育て世帯生活支援特別給付金290万円の減額理由は。**A** ひとり親世帯の減額はないものの、その他非課税世帯の児童数の家計急変者が見込みより少なかったことによる。**Q** 就農支援事業の減額理由は。**A** ファーマーズスクール研修の受講を予定していた方の辞退、及び就農する時期が今年度ではなく翌年度以降になった。また、メーカーが機械の受注の中断を打ち出したため執行が今年度困難になり事業実施を断念したため。**Q** 畜産経営支援事業の減額の理由は。**A** 資材高騰などにより畜舎の新規整備を断念したことに伴う減額。おおいた豊後牛生産向上対策事業については増頭数の確定などによる。

# 総務常任委員会



## 由布市職員定数条例の一部改正について

主な改正内容としては、職員の定数を、消防職員については71人から75人に、選挙管理委員会ならびに監査委員会の事務局の職員については各2人から3人に改正するもの。

## 由布市長等の給与の特例に関する条例の一部改正について

市の現下の財政状況を鑑み、市長、副市長及び教育長の給料を本年4月1日から翌年3月31日までの1年間、3%減額するもの。

## 由布市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について

由布市職員についても、本年4月1日から翌年3月31日までの1年間、給料月額を7級在職者については2%、6級以下の在職者については1%減額するもの。

## 由布市印鑑条例の一部改正について

利用者証明用電子証明書の提供を受けているものが窓口でマイナンバーカードを提示することにより、印鑑登録証明書の交付を受けることが可能となる。また、コンビニ等の多機能端末機において、スマートフォン搭載の利用者証明用電子証明書でも印鑑登録証明書の交付を受けることが可能となる条例改正。

## 由布市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

消防団の処遇改善に向けて、国の消防団員の報酬等の基準が示されたことに伴い、報酬の改定を行なうもの。今回、団員をはじめ分団長、副分団長、部長、班長の報酬を改正するもの。

## 由布市個人情報保護法施行条例の制定について

法律の改正により地方公共団体における個人情報の取扱いが一元化されることから、この法の施行に関して必要な事項を定め、あわせて「由布市道の駅ゆふいん条例」「由布市自然体験学習施設条例」「由布市ほのぼのプラザ条例」の一部を改正するもの。

## 由布市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について

法律の改正により、情報の公開請求及び個人情報の開示請求に関する不服申立て等について調査審議する機関として、新たに由布市情報公開・個人情報保護審査会を設置し、事務の効率化を図るもの。

## 由布市情報公開条例の一部改正について

新たな個人情報保護制度との整合性を図ること、地方独立行政法人の概念を追加することのほか、所要の改正を行なうもの。

## 由布市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について

55歳以上の職員を対象として、家族の介護や体力の低下、セカンドキャリアに向けた準備、ボランティア等の地域活動への参画などの地域貢献を想定し、高齢職員の多様な働き方のニーズに応えるため、公務に支障がないと認める時は、勤務時間の一部について休業することが可能となる高齢者部分休業制度を導入・運用するための規定整備。

## 由布市職員の定年引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

令和5年4月1日から地方公務員の定年年齢の段階的な引上げや役職定年制の導入等の措置を講ずるため所要の改正を行なうもの。

## 他市<sup>(※)</sup>の公の施設を由布市の住民の利用に供させることに関する協議について

## 公の施設を他市<sup>(※)</sup>の住民の利用に供することに関する協議について

本市を含む7市1町で構成される「大分都市広域圏推進会議」において、今般、図書館の相互利用に関し令和5年4月からの運用に向けた協議が整ったため、当該7市1町間で相互利用させることについて議会の議決を求めるもの。

(※由布・大分・別府・臼杵・津久見・竹田・豊後大野・日出)

## 令和4年度由布市一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ4億6,930万9千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ230億64万3千円とするもの。

当委員会に係るもので、ふるさと納税による1億8,000万円の歳入増額については、実績および推計値に基づき増額するもの。みらいふるさと寄附金推進事業1億8,000万円の歳出の増額は、寄附金取扱業務委託料および基金積立金を増額するもの。令和4年度のふるさと納税寄付実績が令和5年3月5日の時点で前年度比241.01%増の5億4,299万1千円との説明を受けた。

全て、全員一致で原案可決



# 教育民生常任委員会

## 由布市国民健康保険条例の一部改正について

健康保険法施行令等の改正により、出産一時金の支給額を8万円増額し、48万8千円とするもの。

## 由布市子ども・子育て会議条例の一部改正について

子ども・子育て支援法の改正により、条例の改正を行うもの。

## 由布市特定教育・保育施設及び特定地域保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

こども家庭庁設置法の施行により、条例改正を行うもの。

## 由布市家庭的保育事業等の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

## 由布市放課後児童健全育成事業等の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

それぞれ基準の改正により、条例改正を行うもの。利用乳幼児及び児童の安全確保を図るため安全計画の策定や利用者の所在確認を義務づけるもの。



庄内中学校



阿南小学校

### 現地調査

会期中の委員会活動として、阿南小学校と庄内中学校にて授業参観および校長先生との意見交換を行い、委員会で教育現場における課題等の把握・共有を図りました。

## 令和4年度由布市一般会計補正予算(第9号)

歳出の主なものとして、住民税非課税世帯給付金7,200万円の減額は実績見込みによるもの。また保育所活動推進事業の送迎用バス安心・安全対策支援事業費補助金52万5千円及びスクールバス運行事業35万円は、安全装置の設置補助金。

## 令和4年度由布市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算に3,701万8千円を追加し総額を42億3,339万円とするもので、実績見込みの決定によるもの。

## 令和4年度由布市介護保険特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算から1億4,976万2千円を減額し総額を42億8,453万円とするもので、実績見込みの決定によるもの。

## 令和4年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算に2,809万3千円を追加し総額を5億3,357万8千円とするもので、実績見込みの決定によるもの。

全て、全員一致で原案可決

# 産業建設常任委員会

## 令和4年度由布市一般会計補正予算(第9号)

歳出の主なものは、新規就農者支援事業補助金969万円の減額は、就農時期の延期等によるもの。また、令和4年台風14号災害に伴う農業用施設等の復旧支援補助金110万6千円は、対象者の増加により増額。

畜産生産振興対策事業補助金524万5千円の減額は、資材高騰により事業実施が困難になったもの。

## 令和4年度由布市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算から19万3千円を減額し総額を8,996万4千円とするもので、還付金および光熱水費の執行残による減額。



請願4の里道を再度確認

## 令和4年度由布市水道事業会計補正予算(第3号)

	補正額	総額
収益的収入	339万6千円	8億8,747万5千円
収益的支出	△933万7千円	8億2,163万1千円
資本的収入	△470万円	4億3,672万2千円
資本的支出	494万6千円	7億7,280万6千円

補正の主な内容として、入札・実績および事業精算に伴う増額または減額。

全て、全員一致で原案可決

# 視察研修報告

## 総務常任委員会

1. 調査研修の期間 令和5年1月11日(水)～13日(金)
2. 調査研修視察者 (委員長)田中真理子、(副委員長)佐藤孝昭、長谷川建策、鷲野弘一、淵野けさ子、太田洋一郎、議会事務局

### 1 沖縄県宜野湾市 (株)おきでんCplusC

#### 沖縄県の令和4年度離島・過疎地域づくりDX促進事業に採択された 離島・過疎地域におけるICTを活用した住民サービスについて

(株)おきでんCplusCの提案する「新しいみまもり」では、最先端のITテクノロジーである「Wi-Fiセンシング技術+AI」を活用することにより、人が訪問するといった、これまでの方法では実現できなかった地域全体の高齢者を常に見守る体制の構築を目指しています。一世帯あたり数個のWi-Fiセンサーを設置するだけで、見守る側は24時間365日、タブレットやスマートフォンを通して、屋内で生活している高齢者等の活動状況や睡眠の質等を確認することが可能になります。

【まとめ】高齢者になっても自宅で生活することが可能となり、また、自宅に残して離れて暮らす家族も安心できるなど、自分の暮らしたい地域で安心して最後まで暮らせることが実現できるシステムであると感じました。由布市でも、DX化や防犯防災と自助・公助・共助のIT社会システムの検証を一考してほしいと思いました。

### 2 沖縄県名護市 特定非営利活動法人NDA

#### 企業誘致等、雇用機会の拡充支援による地域経済活動の活性化や 移住定住促進等の成果について

名護市は、新たな産業の創出を目的として、平成14年に金融業務特区及び情報通信産業特別地区の指定を受け、金融・情報通信関連企業の集積に取り組んでおり、平成20年7月には「金融・情報通信国際都市構想」を策定しています。平成26年4月には、経済金融活性化特別地区の指定を受け、同構想に基づいた各種施策を推進しています。

なお、名護市では、一定の要件を満たす企業に税制優遇、一定の要件を満たす中小企業に3年間に限り使用料免除、通信費の支援、沖縄若年者雇用促進奨励金等、将来の子ども達へのキャリア教育の実施などの支援を行っている。



NDAが管理するみらい5号館を視察しました(名護市)

【まとめ】本市においても、単に企業誘致を進めるだけでなく、インフラの整備や若者定住、起業支援、人材育成・教育、雇用等も含めた中小企業支援は大きな課題であり、今回、活気あるまちづくりの取組みを進めるうえで参考となる研修でした。

### 3 沖縄県恩納村 恩納村役場企画課

#### SDGsの達成に向けた地域づくりの取組みについて

恩納村は2018年7月に「サンゴの村宣言」を行い、村民一人一人の自然環境に対する意識の向上、村の豊かな自然環境の保全と育成、地域資源を活かした恩納村ブランドの確立に向け「サンゴの村宣言プロジェクト～世界-サンゴに優しい村～」に取り組んでいます。現在、恩納村役場では企画課に恩納村



SDGsの推進事業を視察しました(恩納村)

SDGs推進事務局を設置し、環境・経済・社会の各側面を先導する取組みを進めています。

環境面では「GreenFins」を導入、経済面では「恩納村版ローカル認証」を導入、社会面ではSDGsに関してセミナー等を実施し将来世代への意識啓発、地域への関心を高めるための取組みを進めています。

【まとめ】SDGsに取り組むことによって、産業が活性化し、経済が豊かになれば住民の所得も増える。このような環境・経済・社会の好循環を生み出す仕組みや流れを、由布市においても行政と住民の知恵を集結させながら、住みよいまちづくりを進めていきたい。

以上報告いたします。

# 視察研修報告 産業建設常任委員会

1. 調査研修の期間 令和5年2月7日(火)～9日(木)
2. 調査研修視察者 (委員長)加藤裕三、(副委員長)田中廣幸、佐藤人己、佐藤郁夫、高田龍也、志賀輝和、議会議務局

## 1 愛媛県内子町

### 環境マネジメントシステム“うちエコ”による環境施策について

自治体にとって環境保全の取り組みは最重要課題の一つです。

内子町は町民参加を前提とした環境マネジメントシステムを構築・運用することにより、環境施策全体に町民目線でのチェックを取り入れ、町民自身の意識の高まりや行動につなげ「きらりと光るエコロジータウン内子」の実現を目指す、まちづくりへの参画促進につなげています。由布市においても、豊かな自然環境の保全に向けこれまでの取り組みを進化させたシステムづくり等に取り組むべきと感じました。



“うちエコ”の説明を受けました(内子町)

## 2 香川県小豆島

### オリーブによる地域活性化について

オリーブの木が植樹され約120年の歴史がある小豆島町のオリーブ課では、オリーブによる地域振興、ブランド力の強化、そして生産拡大の3つの柱を掲げています。現在、国内100か



オリーブ園を視察しました(小豆島町)

所を超えるほど産地が広がったことから、平成23年度より「小豆島オリーブトップワンプロジェクト」の取り組みを進めており、品質に於いては国内はもとより海外の品評会で常に上位に位置しています。このような背景には県の研究機関をはじめ、JA、企業等の支援とともに、行政の戦略等の推進によるものです。一方で生産者の高齢化による、人材の育成には苦慮しているとのこと。由布市においても農業振興は欠かせないものであり、同様の課題も多く抱えている現状の中、移住・定住のみならず、生産者の基盤安定に向けての取り組みをさらに進めていくべきと感じました。



## 3 高知県須崎市

### 人材育成やアートイベントを通じたまちづくりと観光振興について

須崎市の人材育成やアートイベントは、観光振興というよりは地域活性化の意味合いの強いものであったが、現在は“海のまちプロジェクト”という新たな産・学・官・金融連携事業を進めているという話も伺い、地域を盛り上げようという地盤があってこそ観光振興ができるのではないかとこのことを改め

て考えさせられました。「百聞は一見に如かず」他の自治体の取り組みを現地で学び、由布市を見つめなおすことができ、諸課題解決の一助となりうる視察研修となりました。

以上報告いたします。

# 議会活性化調査特別委員会の活動についてお知らせします

委員長 佐藤 孝昭

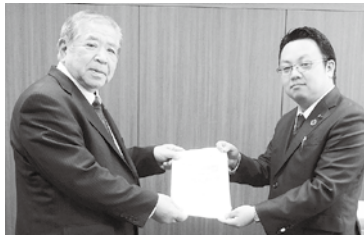
## 由布市議会基本条例の検証に関する調査報告書を議長へ提出しました

由布市議会では、平成26年10月に由布市議会基本条例を制定しましたが、現在に至るまで検証が行われていなかったことから、当委員会でこれまでの取組みを振り返り、議会における最高規範として制定した基本条例の基本理念の実現に向けて、条例の目的・原則等に即した取り組みがされているかの検証を、委員会で14回に渡り実施し、その結果を議長へ報告しました。

今回の検証においては、全般において概ね目的が達成されているとの結果であるが、各項目においては、達成できていない点も見受けられることから、議会として更なる取組が必要であると考えられます。

また、検証内容について協議する中で、各議員が条例の趣旨及び内容を十分認識したうえで、資質向上を図ることも大変重要であることも確認されました。

今後においても、議会は社会状況や市民ニーズの変化を的確にとらえ、市民福祉の増進と豊かなまちづくりの



実現に寄与するため、本条例の趣旨を鑑み、守り育てていくことが重要であると意見を付しました。

### 各条文に関する委員会の主な意見

#### ○第2条(議会の活動原則)

災害・感染症等の危機管理対応(議会BCP)に関する条文の追加を検討。

#### ○第15条(議会改革及び政策協議)

ICT化の推進にあたり情報通信技術の活用条項の追加が必要。

#### ○第18条(議員の政治倫理)

議員内でも倫理観に個人差があることから、今後、議会政治倫理条例等の検討も必要。

#### ○その他

第19条(議員定数)と第20条(議員報酬)については、議員のなり手不足の深刻化が鮮明となっている中、なり手を増やすための有効な対策について、議会報告会で市民の皆様の意見もいただきたいと思っております。

## 一般質問

## 市政を問う

- 吉村 益則 議員  
湯平地域災害復旧復興について 他
- 加藤 幸雄 議員  
ふるさと納税について 他
- 坂本 光広 議員  
挟間庁舎、庄内庁舎の駐車場に建てた防災施設について 他
- 田中 真理子 議員  
令和5年度一般会計当初予算における財政見直しについて 他
- 田中 廣幸 議員  
有害鳥獣の猪・鹿、狩猟解禁日より12月末までの捕獲状況と対策は 他
- 加藤 裕三 議員  
今後の観光について 他
- 志賀 輝和 議員  
災害時の高齢者・障がい児・者等要配慮者の避難支援について 他
- 淵野 けさ子 議員  
将来を見据えた保育環境を望む 他
- 鷲野 弘一 議員  
消防広域ネットワーク119番通報一元化について
- 佐藤 郁夫 議員  
教職員が地域に根ざした学校教育活動ができるための環境づくりと働き方改革について 他
- 首藤 善友 議員  
消防団員へのさらなる報酬引上げを求める 他
- 太田 洋一郎 議員  
パートナーシップ宣誓制度の導入を
- 高田 龍也 議員  
由布市の財産管理開発について 他



吉村 益則 議員

「湯平地域災害復旧復興について」 他

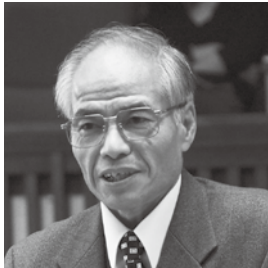
#### Q 湯平地域災害復旧復興について

A 令和2年7月に続き昨年も台風14号の被害を受けた為、現計画の見直しを含めて着実に計画を進める為に国へ防災安全交付金の活用を申請し、一時避難所の整備や避難路を兼ねた遊歩道の整備を行う。湯平まちづくり協議会と共に復旧復興に向けての地域ビジョンを明確にし、緊急避難所等の整備を行う。また、計画の推進の為に湯布院地域振興課内に「湯平復旧復興班」を設ける。

#### Q スポーツセンターについて

A 施設の老朽化とコロナ禍にあることも加わり利用者、団体共に減少傾向にある。宿泊施設の整備も含めて研究していく。本年度も施設の貸し出しや各種大会の実施や合宿の受け入れを行うが、施設利用者を2万人、宿泊合宿等で3,000人を目標に進める。令和6年度の国民スポーツ大会佐賀大会のライフル競技会場となっている為、市として協力をして行く。

その他、日米共同訓練について伺いました。



加藤 幸雄 議員

「ふるさと納税について」  
他

**Q** ふるさと納税について。今年度は5億円を超えたと聞きました。ありがとうございます。令和5年度の目標はいくらですか。

**A** 令和5年度の当初予算は5億円を計上しております。

**Q** 令和5年度の目標は5億円だと。普通、民間企業は、5億円いったのだから「7億円か10億円くらい出来るのではないか」と社長は言うのですが。

**A** 新しい手法を考えています。具体的な金額は考えが及んでいません。

**Q** ふるさと納税は農業生産者を守る大きな役割を担います。果物や野菜は卸に出すと3割か4割の手数料を取られます。ふるさと納税だと10割で全部買っただけ。おまけに送料もかからない。これだけ得をする農業生産物はありません。よろしくお願いします。

**Q** 由布市の観光について。コロナ禍の中、湯布院観光はかなり回復しています。庄内や挾間に観光客を誘導することは考えていますか。

**A** 全国旅行支援やゆふ泊キャンペーン、インバウンドの受入れ再開もあり、コロナ禍前の水準に回復しつつある状況です。令和6年4月から国内最大級の観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン」が実施され、さらに多くの観光客が訪れることが想定されます。二次交通の問題解決に向けて、令和5年度に循環観光バスの運行を計画しており、由布院発で塚原や湯平、由布川峡谷、男池を回ってもらうコースを設定する予定です。



田中 真理子 議員

「令和5年度  
一般会計当初予算における  
財政見通しについて」 他

**Q** 令和5年度一般会計当初予算における財政見通しについて。

**A** 一般会計予算(案)は、前年度比較1.0%の2億円余りの減。歳入において、市民税、固定資産税、入湯税2億1,000万円の増、地方交付税は4.1%の約2億4,500万円の増、寄附金は2億円増となる5億円を見込んでいます。自主財源比率は、28.1%の2億6,500万円の増。市債は158億8,400万円の見通し。歳出では、災害復旧・復興事業、社会保障費、公債費の増、公共施設の改修・解体・インフラ対策など計上しており、財源不足3億800万円は財政調整基金からの補填。重点施策の「市民提案型連携協働事業」等に9,800万円、「DCに向けた滞在型・循環型観光事業」等に6,000万円、児童クラブ棟建設に向けた児童施設整備事業に1億2,900万円、「ごみ減量化対策事業」に5,900万円、「重点戦略特別枠」に37事業4億7,400万円計上。

※その他、荒廃農地の状況と今後の管理の取組みについて、マスク緩和に向けての周知について質問。



坂本 光広 議員

「挾間庁舎、庄内庁舎の  
駐車場に建てた防災施設  
について」 他

**Q** 挾間庁舎、庄内庁舎の駐車場に建てた防災施設の経緯と活用方法は。

**A** モバイル施設そのものが企業版ふるさと納税によるもので、通常時は施設利用を地方創生に資する事業に使用することになっており、国難級の災害時には応急仮設住宅として被災地へ貸し出す仕組みになっています。活用方法は、挾間庁舎のモバイル施設については、当面、児童クラブとして使用し、庄内庁舎のモバイル施設は、1階部分を移住・交流施設の特産品開発を行うスペース、2階部分を防災関係の研修を行うスペースとしてレスキューサポート協会の方などとお話をさせて頂き防災士を中心に防災士でとりまとめた状況などを生かしながら活用する予定です。また、有効に活用して頂くために、机、椅子、プロジェクターなどを由布市のほうで購入する予定です。

※その他、広域ゴミ処理施設の整備に伴うゴミ処理について質問しました。



田中 廣幸 議員

「有害鳥獣の猪・鹿、狩猟  
解禁日より12月末までの  
捕獲状況と対策は」 他

**Q** 有害鳥獣の猪・鹿、狩猟解禁日より12月末までの捕獲状況と対策は。

**A** 3町の5年間の平均を令和4年度と比較すると、猪は、挾間町・庄内町30頭、湯布院町は60頭ほど増えている。鹿は、挾間町・湯布院町は横ばいで、庄内町は80頭ほど増えている。捕獲時報奨金を今すぐ上げることは厳しい。加害个体数を下げるためICTのドローン等を使い生息調査を実施し、調査・研究する。

**Q** 令和6年度市内中学生新入生の制服の統一について。

**A** 制服の金額は3万8,000円から4万3,000円の設定。多様性にも配慮するが、たくさん的人数で注文することにより金額も下げることができる。性の教育や男女参画については、特別活動や様々な教科の中で編成をしている。

※その他、消防団員の確保・PR活動、「台風14号で活動」し全国表彰された団員について。



加藤 裕三 議員

「今後の観光について」  
他

**Q** 今後の観光について。

**A** 令和6年度に国内最大規模の観光キャンペーンであるDESTINATIONキャンペーンが実施され、多くの観光客の来訪が想定され、この機会に由布市内全域の魅力を体感できる取組を実施し、由布市ファンの確保につなげていく。オーバーツーリズムについては、「最も住みよいまちこそ最も優れた観光地である」という従来から大切にしてきた言葉を意識し取組を進める。具体的には、外国人旅行者、インバウンドの方々の文化の違いによる諸問題は、喫緊に対応しなければならない課題。また、交通渋滞は緩和に向けた交通社会実験を踏まえ協議していきたい。

**Q** 旧湯布院公民館跡地利用計画について。

**A** 駐車場設置の要望書を受け、さらなる住民意見の聴取が必要とし、市民懇話会を開催。84名の市民の方々が参加し、率直な意見を頂き、基本構想にも懇話会の意見を反映させてきた。基本構想に基づき、湯布院地域の玄関口としてふさわしい空間を実現できる企画・設計者をプロポーザル方式により公募し、選定委員会にて選定する予定。

※その他「水道料金について」「市民意識調査について」



志賀 輝和 議員

「災害時の高齢者・障がい児・者等要配慮者の避難支援について」他

**Q** 避難行動要支援者名簿作成登録状況について問う。

**A** 平成30年度から、手上げ方式及び同意方式で、名簿公表の同意書と共に民生委員や自治委員に提出してもらい作成をしている。登録者数は令和4年5月現在1,879人、内訳は要介護高齢者、障がい児・者が417人、このうち障がい児は10人。その他支援が必要と認められた方及び自ら希望をした方は1,462人となっている。

**Q** 個別避難計画書の作成状況について問う。

**A** 令和4年度に由布市版の個別避難計画の様式を定め、個別避難計画のモデルケースとして18件作成した。令和5年度はハザード内の独居、高齢者世帯など優先度の高い方から順次作成をし、令和7年度までに1,800人の作成を目指す。

**Q** 本市で特別支援教育就学奨励金制度を活用していない理由を問う。

**A** 本市においても令和5年度より本制度の活用を図り、誰もが等しく教育を受けることができるような環境づくりに努めていく。

※この他パートナーシップ宣誓制度について質問をしました。



湊野 けさ子 議員

「将来を見据えた  
保育環境を望む」 他

**Q** 将来を見据えた保育環境を望む。はさま保育園、みずほ保育園、由布市立挾間幼稚園の立地条件環境が非常に良く、ここを子育てゾーン特区として一体的に認定こども園として取り組む事は出来ないのか。

**A** 新年度挾間幼稚園の入園希望者は17人。2保育園と挾間幼稚園を統合して認定こども園へという案は現在の所計画はありません。

**A** これは今から少子化の中でさらに議論を深めながら教育委員会又行政が一緒になった総合教育会議とか、これまでも議論してきたが、そういう中で議論をしながら進めていきたい。

**Q** 中学校に冷水機の設置を要望。

**A** 冷水機の管理や衛生面の問題、コロナウイルスやインフルエンザ等感染症予防対策の観点から設置しない方が望ましいと考えている。

※その他、暮らしのサポート事業の利用状況、住民健診の血液検査の項目に甲状腺ホルモン検査をオプションで要望、少子高齢化に伴い地区の市道草刈りが困難の地区をどう考えるか。



鷲野 弘一 議員

「消防広域ネットワーク  
119番通報一元化について」

**Q** 消防広域ネットワーク119番通報一元化を前に由布市消防の準備について問う。

**A** 消防指令業務共同運用（大分市役所を本部に119番通報を県内一元化）に向けて、日常業務の中で勤務地等の地理をしっかりと把握するよう、勤務経験がある職員からそれぞれの地域・地理等について研修することにより、円滑な業務遂行に努めています。

**Q** 通報の一元化を前に由布市内末端の地域の道路状況まで把握する地図データはできているか問う。

**A** 全ての地域の把握は今後一年間以内では厳しいかと思えます。市民に不安を与えない円滑な消防活動に努めます。



佐藤 郁夫 議員

「教職員が地域に根ざした  
学校教育活動ができるための  
環境づくりと働き方改革について」  
他

**Q** 教職員が地域に根ざした学校教育活動ができるための環境づくりについて、市教育委員会として広域異動をどう考えているのか。

**A** メリット・デメリットの双方があります。メリットは周辺自治体にとっては教職員の人材確保の有効な手立てであること、他の自治体での経験を交流することによって本人だけでなく他の自治体の教職員のスキルアップにもつながります。デメリットは長距離通勤や結婚・出産といった生活設計に大きな影響を及ぼしており若手教職員に大きな負担を与えていること、せっかく地域になれ交流ができるようになっても異動せねばならず、地域とつながる教育の推進を阻害してしまうと考えます。今後は先生方の負担を軽減するような方式への転換を図る必要があります。

**Q** 働き方改革は。

**A** 新年度からは、先生方の強い要望に応じてICTアドバイザーの配置や部活動指導員等の増員に向け予算案を今議会に上程しています。

※その他、農泊による農業農村地域の活性化、選挙の投票率向上対策、選挙公営制度（議員のなり手不足対策）導入について質問しました。



首藤 善友 議員

「消防団員へのさらなる  
報酬上げを求める」 他

**Q** 2月に行われた日出生台での日米の演習について、市民の安心安全をどう守っていくのか。

**A** 対策本部を設置、市民の不安解消・安全確保に努めた。四者協により万全の措置を要請。特に米海兵隊に対しては、規律を保持し、事故防止に向け十分な措置、外出については地域住民の不安を抱くことのないよう格段の配慮を強く要請した。

**Q** 消防団員の報酬が県下でも低い水準にあり、消防庁長官の通知（令和4年・年額報酬5万円・出勤報酬1回8千円・交通費）にもとづき値上げせよ。

**A** 年額報酬については令和5年度値上げの改定をしている。出勤報酬については従前の2,000円を支給としている。出勤報酬についても、国から標準額等示されているので、今後調査・研究の上検討してまいりたい。

**Q** 学校給食無償化が全国で広がっている。宇佐市でも実施するとの報道を受け、由布市でも実施に向け具体的検討を求める。

**A** 学校給食における食材費については、基本的に保護者負担をお願いしていきたい。

**A** 保護者の負担軽減、また子育て支援の観点から、大分県市長会でも提案している。市でやれば1億円を超える財源が必要であり、そういった面も十分考慮しながら対応していきたい。



太田 洋一郎 議員

「パートナーシップ宣誓制度  
の導入を」

**Q** 昨年12月定例会の一般質問で制度導入について取り上げ、市長は市町村単位ではなく国の方針として示されるべきで、国の動向を注視すると答弁された。その後、令和5年2月4日首相秘書官がLGBTに関して「隣に住んでいたら嫌だ。見るのも嫌だ。」と発言された。同性婚の法制化に慎重な立場を示す首相や元秘書官の発言で、国として多様性を尊重し認め合う社会の構築は程遠いと多くの国民が感じたのではないかと。ならば、地方の自治体が制度導入し、多様性を認め合う機運が必要と考えるがどうか。

**A** 意義のある制度と認識している。また、その一方で、当事者の立場から利便性を考えれば、広域的に統一した制度利用ができることが望ましいと考える観点から、今後も国県及び県内他市町村の動向を注視しながら検討し、多様な価値観が認められ全てのひとと人権が尊重される社会の実現に向けた取り組みを図っていきたい。



高田 龍也 議員

「由布市の  
財産管理開発について」

**Q** 由布市の財産管理開発について伺う。自国で土地の個人永年所有権を認められない国との取引を相互主義の観点から由布市としての考えを伺う。

**A** 現在日本において、不動産を外国人に売買することを特に妨げる法律はありません。

**Q** 他県では外国法人が、現地法人を作り大規模に農地を取得しているが、由布市として何らかの規制を考えているのか。

**A** 農地法に係る農地取得要件等に、外国法人または海外に居住外国人の取得に係る制限等はありません。由布市条例にもありません。

**Q** 由布市中小企業振興基本条例（第13条）の認定する『新・由布院温泉観光基本計画』中に開発規模3000㎡以下、客室数を15室程度最大30室程度等など規制しているが、このようにして農地農林を守るためにも規制できないか。

**A** 市が条例をつくる場合、上位法を超えて条例をつくることはできない。法令も地方自治体がつくる条例等は国、県、他の法令を超えて規制することはできません。

## ■令和5年第1回定例会で審査した請願・陳情の結果

区分	件名	代表提出者	結果
請願4 (R4受付)	市道認定に関する請願について	東石松1自治委員 岩尾 秋和	継続審査
請願7 (R4受付)	市道の廃止、払い下げに関する請願について	株式会社 大光 代表取締役 大賀 聖二郎	不採択
請願1	旧湯布院公民館跡地利用「ラックホールの駐車場及び災害時の駐車場設置」に関する請願	湯布院町自治委員会長 後藤 久生 他3名	採 択

## ■賛否一覧表

(令和5年第1回定例会)

※○=賛成、●=反対 議長(長谷川建策)は採決に加わらない。  
※その他の上程された議案については、全員一致で承認・適任と答申・可決した。

議案名	議員名	議決結果	議員名																					
			賛成	反対	長谷川建策	鷲野弘一	田中真理子	佐藤人己	洲野けさ子	佐藤郁夫	甲斐裕一	加藤幸雄	太田洋一郎	平松恵美男	加藤裕三	田中廣幸	吉村益則	坂本光広	高田龍也	佐藤孝昭	志賀輝和	首藤善友		
議案17 由布市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決	16:1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議案41 令和5年度由布市一般会計予算	原案可決	16:1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案42 令和5年度由布市国民健康保険特別会計予算	原案可決	16:1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案43 令和5年度由布市介護保険特別会計予算	原案可決	16:1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案44 令和5年度由布市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	16:1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

### 編集後記

先日、私の住む地域の小学校で卒業証書授与式があり、久しぶりに来賓として出席しました。式では、小規模校でありながら生徒全員の息の合った態度、卒業生1人1人に掛ける別れの言葉や歌声などが大きな声で広い体育館に響き渡り、立派に育っている生徒達に感心しました。感動的で素晴らしい式であり、私を含め来賓の方々は目に涙を浮かべていました。こんな生徒達、子ども達を育ててくれた学校や保護者、先生方に感謝します。

新年度となりコロナ禍も緩和され、これから多くの催し物があり人数制限もなくなっていくと思います。すでに市内観光地では多くのお客様で賑わっています。しかし、対応するスタッフが集まらないという問題もあるようです。これも人口減少の煽りなのでしょうか。

議会として、これからは様々な問題解決に向け、行政・市民と協働のまちづくりに取り組みます。

田中 廣幸

議員は公職選挙法に基づき  
以下の行為は禁止されております。

- 地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- お中元やお歳暮
- 年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
- 病気見舞い
- 葬式の花輪や供花
- 本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- 初盆のお供えやご仏前

市民の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

市議会  
ホームページ



### 議会広報編集特別委員会

委員長 加藤 幸雄  
副委員長 首藤 善友

委員 田中 真理子 洲野 けさ子  
加藤 裕三 田中 廣幸  
坂本 光広 佐藤 孝昭  
志賀 輝和

次の由布市議会は 6月12日(月)に開会予定です(令和5年第2回定例会)